



(その四)

工場又は事業場の名称	宇部興産株式会社 千葉石油化学工場
------------	----------------------

### (3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
(A)	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)	削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)	計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

### イ 課題と対策

<p>・脱臭装置の出口ガス濃度の計算に間違いがある事が判明した為、平成30年度の排出量の実績値を修正します。</p>

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。



(その四)

工場又は事業場の名称	丸善石油化学株式会社 千葉工場
------------	--------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1) の計画年度における削減率について進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる。(一部課題がある。)	削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)	計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)
<input checked="" type="radio"/> C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

・貯蔵施設の呼吸ロスによる排出量は生産量の増減が大きく影響しています。
・装置からの排出は適正運転の継続により横ばいを維持しております。

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価がCの場合は、必ず記載すること。



(その四)

工場又は事業場の名称	東レ・ファインケミカル株式会社 千葉事業場
------------	--------------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成 2 1 年度以前	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度以降
○A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称	東レ株式会社 千葉工場
------------	----------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
4 9	5 1	5 6							

その他（19, 29, 39, 49, 59, 99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

1. 対策 1 について ----- アクリロニトリルタンク設置時、タンクベントにコンデンサーを取り付け-20℃にして、アクリロニトリルの蒸気を凝縮させてタンクへ戻している。 -----
2. 第7期P R T R対象物質削減対策設備（シリカゲル吸着装置）。 -----
3. 第8期P R T R対象物質削減対策設備（3塔式蓄熱燃焼炉）。 ----- ----- ----- -----

(その四)

工場又は事業場の名称	東レ株式会社 千葉工場
------------	----------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)	削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある)	計画年度の目標を概ね達成できた(一部課題がある)
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

<p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
---

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。





(その四)

工場又は 事業場の名称	京葉モノマー株式会社
----------------	------------

(3)自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)	削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)	計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

1.装置トラブル発生時の機器開放等があると排出量増加につながるため、装置トラブルの減少が課題。 平成31年1月21日発生のトラブルによりVCM(塩化ビニル)を放出したため、排出計画量を大きく上回り排出削減率は低下した。 トラブルの要因となった機器(液面計)は更新および多重監視に変更し、運転が不安定になった際にはインターロックで自動停止するように改善を行った。教育や被害の拡大抑制のための訓練を実施している。
2.各所から放出されるベントガスを吸引し廃棄物焼却炉で焼却しており、吸引配管の清掃を定期的に行う。
3.廃棄物焼却炉の清掃時はベントガスが空放されるため、廃棄物焼却炉の清掃期間をできるだけ短くする。

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。



(その四)

工場又は事業場の名称	JSR株式会社 千葉工場
------------	-----------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策


備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称	出光興産株式会社 千葉事業所
------------	-------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
3 1	3 9	4 1	5 1	5 2	5 9				

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

(対策 3 9 について)
従来、粗ベンは弊社他事業所へ船転送し処理していたが、平成13年6月以降、当事業所内処理に内製化することで海上出荷に伴うVOC排出量を削減した。
(対策 5 9 について)
平成26年度～28年度にかけ、一部の製造装置を停止、廃止したことによりVOC大気排出量は、基準年の排出量から90%以上の削減量となった。
(対策 3 1 の補足説明)
平成21年度はポンプ軸封からの飛散を減少させるために、軸封の改善を実施した。
(対策 4 1 の補足説明)
ナフ等揮発性有機化合物は浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに貯蔵し、貯蔵に伴うVOC排出量を削減した。
(対策 5 1 の補足説明)
排出ガス中の揮発性有機化合物を吸着回収する設備の設置等により大気中への排出量を減少してきた。
(対策 5 2 の補足説明)
タンクローリー充填・出荷施設にはVOC回収設備を設置し、VOC回収率90%以上の高回収率運転を行い、タンクローリー充填・出荷に伴うVOC排出量を削減した。



(その三)

工場又は事業場の名称	ライオン株式会社 千葉工場
------------	------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
2	9								

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

対策 1 について

当該貯蔵タンクの適切な管理によるVOC発生量の削減。







(その四)

工場又は事業場の名称	星光PMC株式会社 千葉工場
------------	-------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>
<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>
<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>
<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>
<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>
<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>
<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>
<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>
<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>
<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>
<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>
<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>
<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。



(その四)

工場又は事業場の名称	D I C 株式会社 千葉工場
------------	--------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)	削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)	計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策


備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。